

修了にあたって

平成17年4月1日、静岡市が県内最初の政令指定都市になりました。また、7月1日には12市町村が合併し、新「浜松市」が誕生するなど、年度当初68あった県内市町村は42にまで合併が進みました。さらに国では、10月21日に郵政民営化関連法案が公布されるなど、構造改革・行財政改革、地方分権の流れが過去にない速さで進みました。公教育の場にも、これまで無縁とされていた規制緩和・能力主義・競争原理などの市場原理が導入される時代となってきました。このような大きな変化の中で、私たちは、子供の成長にとって何が重要なのか、教育の本質を見誤らないことが大切だと感じています。

静岡県総合教育センター長期研修実施要領には、長期研修の目的が、「学校教育の在り方や教育実践上の課題について、教育の本質に基づいた広い視野から考察し、教員としての資質の向上と見識の涵養に努め、併せて学校及び地域の教育を推進するための実践力を養う」と書かれています。時代の激しい変化を見ると、私たちは現在進んでいる教育改革の本質「生涯学習社会に向かって『生きる力』を、子供たちにはぐくむこと」の大切さを、これまで以上に深く感じ、児童生徒の指導に全力であたる気持ちを高めています。

私たち長期研修員12名は、研修研究部・教職研修課に5名、情報教育研修課に2名、進路指導支援室に1名、教育支援部・教育相談課に3名、特別支援教育課に1名が配属され、各課に係る教育課題について理解を深め、個人ごとに設定した研究主題を追求し、ここに「平成17年度長期研修研究報告書」としてまとめることができました。この冊子が、見ていただく方のお役に立てば幸いですし、私たちは今後も研究を深め、教員としての資質向上に努めていきたいと考えています。

また、センターでの講義や有識者による講演を聴講させていただいて、教員としての見識を深めることができました。所員の方々から頂いた助言は、研究を進めていく上での支えになりました。所長からは、「現場に戻ったとき、学校を元気にして欲しい。」という言葉頂きました。「教職員が生き生きと、お互いに意見を交わしながら切磋琢磨する環境。その影響が児童・生徒にも伝わり、生き生きとした活動が展開される。さらに、保護者や地域の方々に参加・協力した活動が行われ、学校を取り巻く全ての人が、児童・生徒の成長に関心をもっている。」そのような学校を目指して、微力ではありますが、静岡県の教育の発展に寄与していきたいと思えます。

最後になりましたが、この貴重な研修の機会を与えてくださいました静岡県教育委員会並びに各教育関係機関に感謝するとともに、私たちの研究に御協力いただいた学校、専門機関及び所属校の校長や諸先生方、そして所長・副所長はじめ所員の方々に心よりお礼を申し上げます。

平成18年3月

平成17年度長期研修員一同